

私保達しませね

No.41

子どもの育ちを支える
～保育リボン～



Contents

- 特別寄稿…………… 2
- フレッシュ先生の紹介… 4
- こんな活動やってます… 6
- 新加盟園の紹介…………… 8

年長組の楽しみなことのひとつに「海あそび」があります。岩場ではイソギンチャクやカニ、貝を見つけでは、友だちと一緒に大きな歓声を上げていました。また、クルージングでは、風の気持ちよさを感じながら、船の上からの景色を楽しむと同時に海の広さを肌で体感することができました。自然の中で遊ぶ子どもたちは、本当にキラキラと輝いて見えました。

これからも、身近な海と関わり、自然のすばらしさを感じ、おもいっきり遊ぶ楽しさを味わってほしいと思います。

三隅保育所 所長 吉野節子

夏!!

日本海を満喫!!



<http://www.sweet-house.jp/shimane-shihoren>





特別寄稿

子ども・子育て支援に関する 現状と課題、今後について

島根県健康福祉部子ども・子育て支援課長 河原 賢

皆様方におかれましては、平素から、島根県の子ども・子育て支援施策に格別の御理解と御支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、「子ども・子育て支援新制度」が始まり、一年半あまりが経過しました。この間、保育所や認定こども園等の拡充、三歳児に対する職員配置を20対1から15対1に改善、職員給与の改善、放課後児童クラブの拡大など、子ども・子育て支援に関する「量的拡充」と「質の向上」が行われ、国予算も増加してきました。その一方で、待機児童が全国的に大きな社会問題となり、国において





は、待機児童解消加速化プランで掲げていた四十万人分の保育の受け皿確保を、五十万人に上方修正したところです。

年々増加する保育所等への入所希望に対し、受け皿確保が追いついていない状況にあり、この背景には、夫婦共働き率の増加や、核家族化、「子ども・子育て支援新制度」により保育等の需要が掘り起こされたことなどが挙げられており、このことは、島根県においても、同様の傾向にあります。

また、保育士等人材確保がますます難しくなるなど、子ども・子育て支援については、まだまだ多くの課題があります。

さらには、消費税率の引き上げが延期されたことにより、来年度以降の「子ども・子育て支援新制度」の財源確保のめどがたっていないことも、大きな課題のひとつです。

こうしたことから、県では、国に対して、重点要望等において、安定的な財源を確保して「子ども・子育て支援新制度」を確実に実施すること、保育士等給与の改善、配置基準の見直し、人材確保支援の充実等を

求めているところです。

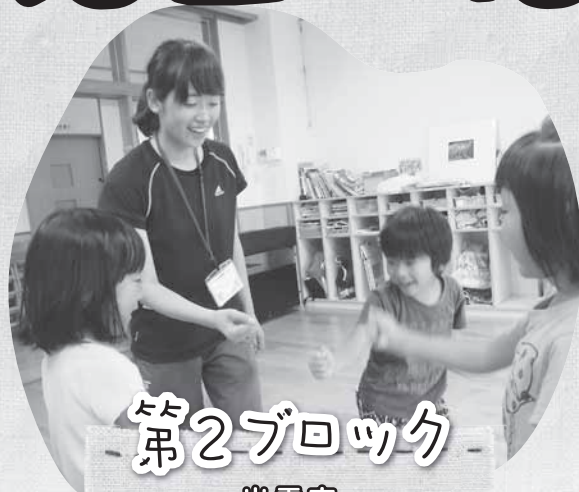
また、県においては、昨年十月に、島根県総合戦略を策定しました。この戦略では、「子育てしやすく、活力ある地方の先進県しまね」を目指し、結婚、妊娠、出産、子育てまでの切れ目のない支援を行うこととしています。

具体的には、若い世代の経済的な負担を軽減するために一定所得以下の世帯の三歳未満児の第一子・第二子保育料を軽減することや、待機児童の解消、病児保育の拡大、中山間地域や離島の小規模な保育の支援、保育士等の人材確保、出産や育児による離職を減らすことなど、様々な取り組みを進めていく予定です。

「子育てしやすい島根」をつくるためには、保育関係者の皆様の力が不可欠です。島根で生まれた若者が、「島根で暮らしたい、結婚したい、子どもを育てたい」と思ってもらえるように、皆様とともにこれらの取り組みを進めていきたいと考えていますので、引き続き、御理解、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

先生の紹介

平成28年度新規採用の先生方を、
各ブロックより選出して紹介するコーナーです。



第2ブロック

出雲市

平田保育所

岡 穂南 先生

平田保育所のフレッシュ先生は「岡穂南(おかほなみ)さん」です。この春から平田保育所の5歳児ぞう2組の担任として、日々元気いっぱいの声に囲まれて過ごしています。

「外でみんなと鬼ごっこするのが大好きです」という穂南さん。年長児なので様々なルールで遊ぶことができ、みんなから「穂南先生一緒に遊ぼう!」と誘われるのが本当にうれしいと輝く笑顔で答えてくれました。新卒の保育士さんらしく、子どもに体ごとぶつかっていく穂南さんは、ぞう2組のみならず周りのクラスのたくさんの子どもたちからも慕われています。

まずは一緒に遊ぶことで子どもたちに少しでも近づき、コミュニケーションを図ることで様々な場面での支援のあり方や、子どもたちが持っている力の大きさに気づくと話す穂南さん…これからも子どもたちと向き合う日々の中で、いろいろなことを学んで成長していくことを願っています。

(所長 川瀬順子)



第1ブロック

隠岐郡

隠岐共生学園 第2保育所

門脇優奈 先生
吉田 愛 先生

うれしいと言う2人です。隠岐の島が大好きで、隠岐の島を離れた時、やっぱり隠岐が好き、隠岐の島で保育士になりたいという思いを強くして隠岐に帰ってきました。

その一人が「門脇優奈先生」です。礼儀正しく、挨拶はピカ一、毎日元気に勤務しています。1歳児クラスの担任として、子どもたちの大切な命を預かる責任を感じながら、笑顔で子どもたちと関わっています。保育士になって一番うれしかった事は、自分が弾いた曲に合わせて子どもたちが体を動かしたり、歌ったりしている時、そして子どもたちの笑顔を見た時と、働く喜びを感じています。その一方で子どもたちの危険な行為に対して、それがどうしていけないのか年齢に応じた言葉のかけ方に悩むことが多いと言います。毎日先輩保育士の姿を見て日々努力をしている先生です。

2人目は「吉田愛先生」です。優しい先生で、子どもたちからも慕われています。2歳児の担任として、どんな時も子どもたちの気持ちを受け入れ、やさしく言葉かけをしています。子どもたちが自分の名前を覚えてくれたこと、「先生おはよう!」と言ってくれる時が一番うれしいと言います。子どもたちが物の取り合いになった時の言葉のかけ方に迷う姿がありますが、他の先生方のやり方を見たり聞いたりしながら、少しずつ学んでいきたいと意欲を見せています。

悩んだり、困ったりすることもある2人ですが、先輩保育士のアドバイスを聞きながら日々奮闘しています。

(主任保育士 脊戸美佐香)



フレッシュ



第4ブロック

浜田市

ちどり第2保育所

小加本麻維 先生



第3ブロック

江津市

さくら保育園

前田彩香 先生

小学6年生の時に保育士を目指すことを決意。絶叫マシンと干しぶどうが苦手で、吹奏楽部ではアルトサックスを担当していた小加本麻維先生を紹介します。

4月当初は、まだ不安そうな表情も見られましたが、いまでは現場の雰囲気にも慣れ、イジられキャラがすっかり定着した、笑顔の可愛い新人さんです。

担任する2歳児クラスの中でも率先して子ども達に声を掛け、周りへの気遣いや先輩保育士の手伝いも積極的にしてくれます。これから学ぶことも多く、仕事を続けていく中でつらい事もあると思いますが、そんな苦労に負けないくらい、子どもに関われる喜びを感じながら日々の保育に励んでほしいと思います。

(職員一同)

短大2年生の時にボランティアで来てくれたのが前田先生との出会い。`物静かで、じっくり観察しているなあ`というのが第一印象でした。4月からさくら保育園の仲間となり2歳児を担当しています。前田先生は先輩保育士の行動や声かけをよく見て、どう子ども達へ接するべきかを考えて行動し、`なぜ?`と思うことには質問をしてくれます。この素直な疑問に分かりやすく説明することは、先輩達にとって当たり前になりがちな日常を振り返り、保育の意図を確認する貴重な機会となり、いい刺激をもらっています。また、職員それぞれが今年度への想いを漢字一字で表した時には『興』という字をあげ`何事にも興味を持って取り組みたいです`と話してくれました。様々な先生と積極的に話し、誕生会では仮装も堂々とやりこなし、笑顔あふれる前田先生。子どもの様子を楽しそうに話してくることを先輩達も嬉しく思っています。自分の得意なことを見つけ、それを伸ばし、保育を楽しみながら深めていってほしいです。

(園長 福富由希子)

かわいい♡



きゃーん♡



こんな活動やってます!!

みんなとっても
楽しそう♪



子育て支援の充実をめざして

つわぶき保育園 園長 倉橋千津子

つわぶき保育園は二〇〇五年七月に開園し、今年で十二年目を迎えました。北に宍道湖を望み、ＪＲ山陰線の電車がすぐ近くを走り、登降園時には電車が通ると「バイバイ」と嬉しそうに手を振る親子の姿をよく見かけます。

今年度、園舎の増築に伴い定員を六十名から九十名に増やし、これまで以上に元気いっぱいの子どもの笑顔や賑やかな声が響いています。保育室はオープンスペースになっており、子どもたち一人一人が過ごしやすい場所を見つけ安心して好きな遊びを楽しめる環境になっています。

そんな中、異年齢児との交流も自然と多くなり、たくさんの刺激を受けながら友だちとの関わりを深め共に育ちあっている子どもたちです。

また、季節ごとの行事を大切にし、由来などを子供たちに伝えていくようにしています。時には地域の方にも手ほどきをうけながら家庭では見

られなくなった笹巻づくり、餅つきなども体験しています。私たち保育士は一人一人の子どもたちとの関わりを大切にしながら、暖かい見守りの中での家庭的な保育を大切に日々過ごしています。

子育て支援の充実をめざし、病児保育・一時預かり事業を行い、児童発達支援センターや小児科も併設しています。この度の増改築で利用人数も増やし保護者の方のニーズに応えられるように日々努力しているところです。

二〇二二年には山代地区にも同法人二園目の「つわぶきこども園」を開設し、「健常の子もそうでない子もすべての状況にある子どもたちの切磋琢磨できる環境を作る」という共通理念のもと、それぞれの地域性をいかした保育を行っています。子どもたちが「保育園って楽しいな」と感じてくれるよう、職員一同笑顔を絶やさず子どもたちと向き合い関わっていききたいと思います。



里山であそぼう

出西保育園 主任保育士 三島輝子



出雲市斐川町の出西地区は豊かな自然に囲まれたところ。その出西に「大谷里山を活かす会」という住民有志で作られた会があります。メンバーの方が所有されている里山を、会のみなさんが少しずつ手作業で整備され、元からの地形を生かした上り坂やほら穴、きのこの栽培地があったり、竹のすべり台、ターザンロープなど手作りの遊具も作られ、会のみなさんの熱い思いがひとと伝わり、とてもすてきなところ。です。

出西地区には出西保育園の他に、あい川保育園、わらべのうち保育園の三つの保育園があり、三園の年長児がその里山に招待していただき交流活動を行って今年で三年目になります。春と秋に行われる「里山であそぼう」の活動では、里山の探索、急斜面の登り下

り、手作り遊具、沢ガニ捕りなど、子どもたちの好きな場所も様々で、目を輝かせ、夢中であそぶ子どもたちの姿を目の当たりにし、改めて自然の偉大さを感じます。会のメンバーの方も参加され、子どもたちのあそびを見守ってくださったり、あそびを教えてください。秋の活動では女性会員の方が里山で採れたきのこを使ってきのこの汁をふるまってくれたり、子どもたちいろいろな体験を提供していただいております、本当にありがたいことです。

この交流活動を通して、子どもたちが自然にふれ、人とかかわる中で、楽しかった思い出とともに「出西はすてきなところだ」と自分たちのふるさとを大切に思う気持ちが育つといいなと思います。支えてくださる地元の方々に感謝し、そして出西の豊かな自然に感謝しながら、これからも「里山であそぼう」の活動を続けていきたいと思っています。

新加盟園 の紹介

松江市 たまち乳児保育園

園長：内田真理

定員：90名

設置・経営主体：社会福祉法人 宝珠会



たまち乳児保育園は、平成二十二年四月に開設した乳児（〇・一・二歳児）保育園です。三歳になった四月より隣接のたまち保育園（昭和四十六年四月開設・全年齢児保育）に無条件で移籍できます。登降園時には玄関前の大きなぞうさんのカラクリ時計から可愛い音楽や園歌が流れ送迎しています。

天気の良い日には、全面芝生の広い園庭で散歩やかけっこをしたりボールを使ったりしてしっかり体を動かして遊ぶなど、外遊びも充実しています。

心身ともに健康で意欲と思いやりのある優しい子となることを願って日々支援しています。これからも子ども達の健やかな成長を見守っていききたいと思っています。





園および園児を さまざまなリスクから サポートします



園経営には、さまざまなリスクが伴います。

(公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、
園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する
各種保険を取り扱っております。

ほいくのほけん (旧：全私保連保険制度)

「園賠償責任保険」
「園児団体傷害保険(学校契約団体傷害保険特約付帯普通傷害保険)」
「特別保育事業賠償責任保険」
など、園経営におけるリスクに関する保険を
ラインナップしています。また、それらを総合的に
補償するセットプランもご用意しております。

園児総合保障 共済制度

園児を24時間補償する
共済制度(こども総合保険)です。
保育者にとっては一般契約に比べて
団体契約による割引の適用で割安な掛金で
補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。
ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

(公社)全国私立保育園連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

〈引受保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社
担当課：公務第二部 公務第一課
TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯普通傷害保険・こども総合保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育園連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。





島根県私保連

28年度後半の研修会のご案内

会計研修

平成28年10月18日(火)
ニューウェルシティ出雲

食育研修

平成29年1月14日(土)
パルメイト出雲

青年部研修

平成29年1月28日(土)
出雲朱鷺会館

編集後記

今年の夏は、リオデジャネイロオリンピックでたくさんの選手の活躍に感動し、パワーをもらいました。でも一方では、台風や豪雨により大きな災害に見まわれたり、不審者による凶悪な事件が起こったり、いじめにより命を絶ってしまうという痛ましい出来事もありました。今、子どもたちを取り巻く環境について心配は尽きませんが、少しでも良くなっていくことを願っています。

「私保連しまね第41号」をお届けします。お忙しい中、執筆等にご協力をいただいた先生方に心より感謝申し上げます。
(広報部副部長 長崎八重美)

私保連しまね No.41

発行日／平成28年(2016) 9月26日
発行者／吉田 哲明

発行所／島根県私立保育園連盟(くもぎ保育園)
編集者／山本 恵子・長崎八重美(広報部)

